



# LETTERS

2016年 12月発行

公益財団法人  
佐倉国際交流基金

〒285-0025  
佐倉市鎗木町198番地2  
TEL・FAX 043-484-6326

## 佐倉国際スピーチコンテスト

10月23日(日)ミレニアムセンター佐倉において、佐倉市共催、佐倉市教育委員会後援、佐倉ライオンズクラブ、佐倉ロータリークラブ、DIC 川村記念美術館の協賛を頂きコンテストが開催されました。第28回の今年の参加者は小学生76名、中学生暗唱の部18名、スピーチの部7名、外国人の部4名でした。

小学生の部は、小学校英語教育の成果か、年ごとにレベルアップが見られ、絵や小道具を用いて元気よく発表できました。今年原稿提出は暗記の自信の無い人としたため、しっかり覚えたつもりでも舞台上では忘れてしまう生徒があり、主催者としても反省する点がありましたが、今年は抽選をせず希望者全員に参加頂けたことをとても嬉しく思います。

中学生のレシテーション(暗唱)の部：渋谷幕張中1年の早川さんは1年生とは思えない素晴らしい英語力、弁舌での、キング牧師の「I have a dream」は断トツの1位でした。教科書の中からの身近なものから、シェイクスピアのハムレット、BBC ニュースレポーター、震災の犠牲となった市役所の話など多様で、英語習得ばかりでなく、この機会に色々な分野に関心を持つ事も意義あることと実感しました。



小学生の部

スピーチ(創作)の部：シンガポールでの経験から、間違いを恐れず英語を楽しもう、と会場の笑いを誘う自然な話ぶりの専修大付属松戸中2年の清水千優さんが最優秀賞1位に選ばれました。こちらもスマートフォンや部活での先輩後輩関係、人生訓など中学生の目から率直な興味深い意見を発表できました。佐倉市内の中学の参加者をもっと増やしたい主催者側の願望があります。



外国人の部

外国人の部はベトナム、中国、インドネシア、ペルーからの4名が、勤勉で優しく時間厳守など、日本人の素晴らしさを讃え、又中学生は体育の時にジャージに着替える事や宿泊旅行、クラス替えなど全く無い自国と日本の中学校の違いなどを聞き、日本では当然のことがそうではないと聞き驚いた人も多かったのではないのでしょうか。

ボランティア・学校内外の先生方始め皆様のおかげで無事終わりました。この基金の長寿行事がこれからも長く続くために、改良に努め、小中学生の英語力、外国人の日本語力向上のため、より良いものにすべく努力が求められていると痛感致します。(岡村運営委員長)

### 【入賞者】

#### ◇中学生「英語スピーチ」の部(敬称略)

賞	氏名	学校	タイトル
第1位	清水 千優	専修大学付属松戸中学校	Don't be afraid of making mistakes!
第2位	小山田 千夏	専修大学付属松戸中学校	Think Twice
第3位	渡邊 さくら	上志津中学校	The Young Americans

#### ◇中学生「英語レシテーション」の部(敬称略)

賞	氏名	学校	タイトル
第1位	早川 美希	渋谷教育学園幕張中学校	Martin Luther King's "I Have a Dream" Speech
第2位	石川 優花	西志津中学校	The Giving Tree
第3位	石井 達也	富里中学校	I'm Sora
第3位	野田 令子	白井西中学校	The BBC News

## 日本語講座学習者のご紹介



佐倉中央公民館で、毎日曜日に開催している「外国人のための日本語講座」(佐倉市受託事業)にお邪魔しました。初級に続いて行われている中級クラスは、笑いと冗談が飛び交い(日本語で)熱気と活気にあふれていました。終了後、ベトナムから企業の実習生として来日している若き青年達に話を伺いました。(年齢・来日年数・趣味・日本の第一印象・日本語講座に参加して)

### ヴォーさん (27歳 来日2年 サッカー)

- ・日本は、買い物する時に、品物がたくさんあって良い。ベトナムは少ない。
- ・初級と中級クラスを受けているが、日本語で話すことが嬉しくて楽しい。初級と比べ中級では、漢字の勉強もあり、少したいへん。

### タインさん (20歳 来日1年 ヒップホップダンス)

- ・来日して1か月間、会社で、外出もせず勉強をした。その間がたいへんだった。その後は、旅行をしたり、ディズニーランドに行ったりして楽しく過ごしている。
- ・講座の先生が、丁寧に教えてくれるので、とても嬉しい。

### タンさん (22歳 来日1年 歌をうたう)

- ・来日間もない頃は、道に迷ったりして、困った。
- ・講座には、他の国の人が出て、お互いの国のことを知ることができて楽しい。

### チェンさん (21歳 来日1年半 サッカー)

- ・日本語が上手になって、いろいろ行きたいところがあるし、買いたいものもある。ただ地震が多いのには驚いた。ベトナムは地震がない。
- ・講座の費用が要らない(教材費はあり)のに、驚いた。

### ナムさん (27歳 来日3か月 泳ぐこと)

- ・日本の人は、親切で優しい。とてもお世話になっている。
- ・週末、講座に来て、仕事の話などすることが楽しい。



### ホァンさん (26歳 来日4か月 歌をうたう バレーボール)

- ・ベトナムはバイクが多いが、日本は車が多い。物価が高い。日本は、きれいな所が多い。
- ・大阪で1か月日本語の勉強をして、佐倉に来た。日本語は難しいが、先生が熱心に教えてくれる。

### ボンさん (21歳 来日1年 チェス)

- ・スーパーに行くのも楽しいし、遊ぶところがいっぱいある。
- ・講座で、頑張ってる勉強しているので、上達して嬉しい。

「実習期間が終了すれば、帰国するけれど、また日本に戻ってきたい。」と嬉しい言葉が聞けて、こちらまで元気を分けてもらいました。近隣で困っている外国の方に、日本語の勉強だけでなく、仲間づくりにと、ぜひ日本語講座をご紹介ください。

## ご 案 内

### ◇DIC 川村記念美術館◇

レオナルド・フジタとモデルたち

会期 2016年9月17日(土)～2017年1月15日(日)

\*最新情報は、HP等でご覧下さい。

### ◇国立歴史民俗博物館◇

身体をめぐる商品史(企画展示室A・B)

会期 2016年10月18日(火)～2016年12月18日(日)

\*最新情報は、HP等でご覧下さい。



## ボランティアさんのご紹介

佐倉国際交流基金の主催事業には、「佐倉市国際文化大学」「佐倉国際スピーチコンテスト」「イングリッシュサロン」がありますが、今回は「佐倉市国際文化大学」の事務作業を一手に引き受けている青柳さんをご紹介します。

**\*佐倉市国際文化大学**は、国際情勢や国内外の経済・文化をテーマにして、年間22講座（うち2回公開講座）開催しています。

佐倉市国際文化大学（文大）の「受講生募集～入学手続き～開講式～修了式に至る概要」をピックアップしてみました。受講生募集の広報活動の媒体として、「こうほう佐倉」「ホームページ <http://www.sief.jp>」「CATV296」「佐倉よみうり」「ポスター・チラシ」を活用しています。

ポスターの掲示、チラシの配布について、公民館等の施設にお願いしていますが、チラシの減り具合が気になるところです。時々配布場所に出向き、チラシの減り具合を確認しています。

各施設の展示スペースの壁いっぱい張り巡らされたポスター、陳列棚のスペースいっぱいになり重なって展示されている、各種案内配布用チラシの束を見せ付けられると、せめて我がチラシが見え易くなる様、置き方をずらす程度で、半ば諦めの心境になることもしばしばです。



3月1日は受講生募集受付開始の日。今年もまた「往復はがきによる申込み」が殺到し、抽選会の準備作業に・・・と期待を膨らませながら心待ちする時期でもあります。応募締め切り日前後は抽選会の要否の判断で一喜一憂の心境です。

入学確定者に対する各種名簿・学生証・オリエンテーション配布資料等、各種資料の作成、開講式の諸準備（式次第、来賓接遇、会場設営等の検討）作業を経て開講式を迎え、当該年度の講座がスタートすることになります。

開講式・修了式の「受講生代表の挨拶」の代表者選びが苦心するところです。この挨拶は初めて文大を受講される方の中から「文大への期待と意気込み」を伺うことを狙いとしています。最終的には何とか快く引き受けて頂ける方が見つかるのは、さすが文大は積極果敢、向学心旺盛な佐倉市民の集まりというべきでしょう。

平成28年度の講座も無事終了致しました。年が明けるとまた、平成29年度の文大開講に向け、同様の広報活動が待っております。皆様には今後ともこれら広報に留意され、ご応募、また公開講座等へのご出席をお待ちしております。（文大事務局 青柳 雄二）

佐倉国際交流基金の事業には、その他、佐倉市の受託事業として、「外国人のための日本語講座」「外国人のための生活相談」等があります。私達の事業は、ボランティアの皆さんのご協力・ご支援で成り立っています。

ぜひ、ボランティアをやってみたいと関心がある方は、事務局までお問い合わせください。そして、来年度の「佐倉市国際文化大学」のご応募をお待ちします。

# 賛助会員紹介

## 佐倉市日中友好協会

私たちの日中友好協会は、日本と中国との友好親善を願う人は、どなたでも気楽に参加でき、活動できる市民の団体です。創立は、1999年（平成11年）11月28日です。佐倉市民ならず市外からも、各界・各層から大勢の人が参加して個人会員368名・法人会員34社で発足しました。

日本と中国との友好は、たんに両国間の利益にとどまらず、アジアと世界平和の繁栄に欠くことが出来ません。私たちは、草の根レベルでのさまざまな交流を盛んにして、相互理解を深めて、永久に不動の友好親善関係を確立していく事をめざしています。すばらしい日中の新時代をつくるために、あなたの参加をお待ちしています。

### ☆☆☆ 活動主旨 ☆☆☆

日本と中国の両国民の相互理解と友好を深め世界平和と繁栄に市民レベルで貢献し、あわせて会員相互の親睦をはかります。

#### 1、会員登録と交流

会員登録を積極的に行い、会員交流を開催すると共に、会員の意見を活動に反映させ、会員相互の親睦を深めます。

#### 2、市民レベルの交流の推進

中国との交流（年一回訪中を計画）を推進すると共に、会員親睦の為、国内日帰りバス旅行やレクリエーションを計画し国内外の親睦と交流を深めています。

#### 3、芸術文化の交流

両国の芸術文化を展示会等の開催や美術館見学等を通じて、振興を図ります。

市内に中国語教室・薬膳料理教室を開講して幅広い参加を求めると共に、市民の生涯学習の一助もしています。



日中友好親善の旅  
「廈門と客家土樓を巡る～厦門・コロンス島の旅」  
10月23日(日)～26日(水) 3泊4日

〒285-0014 佐倉市栄町 8-7 (公社) 佐倉市観光協会 内  
電話 043-486-6000 FAX 043-486-6063 <http://niccyu.web.fc2.com/index.html>  
お問い合わせ(事務局) 043-484-1085 e-mail [nobo1718@miracle.ocn.ne.jp](mailto:nobo1718@miracle.ocn.ne.jp)

## インフォメーション

### ○外国人のための日本語講座

市内に在住・在勤・在学の日本語が得意ではない外国人の方のために、日本語講座を開催しています。あなたの身近にいる外国人の方にお知らせください。

- ・志津コミュニティセンター 毎木曜日 ・ミレニアムセンター佐倉 毎金曜日
- ・佐倉中央公民館 毎日曜日 ・レインボープラザ佐倉 隔週土曜日

### ○外国人のための生活相談

電話相談、状況によって面談を。行政などの依頼を受けて、相談員と登録ボランティアが行政や他の外国人支援団体などと協力して、外国人に対する直接支援活動を実施しています。

スペイン語・英語・中国語【毎火曜日・毎木曜日】時間：10:00～16:00 場所：事務局 他

\* 事前の予約は、事務局まで（電話・FAX 043-484-6326 メール [info@sief.jp](mailto:info@sief.jp)）

※詳しくは、SIEF HP(<http://www.sief.jp>)をご覧ください。

公益財団法人 佐倉国際交流基金 事務局 (SIEF)  
〒285-0025 佐倉市鐺木町 198 番地 2 レインボープラザ佐倉 2F  
電話・Fax 043-484-6326 (月～金 9:00～17:00)  
HP: <http://www.sief.jp> Email: [info@sief.jp](mailto:info@sief.jp)